

ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書

201004

パピッとサーモ® mini
NIR-02

NURSE ANGIE



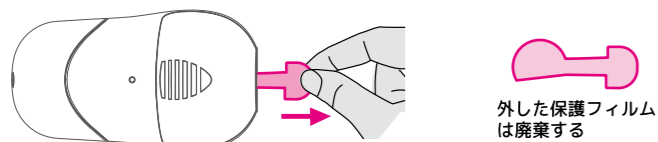
このたびはパピッとサーモ mini をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、お読みいただきました後も大切に保管してください。

使い方動画はこちら

はじめに

電池の保護フィルムを外す

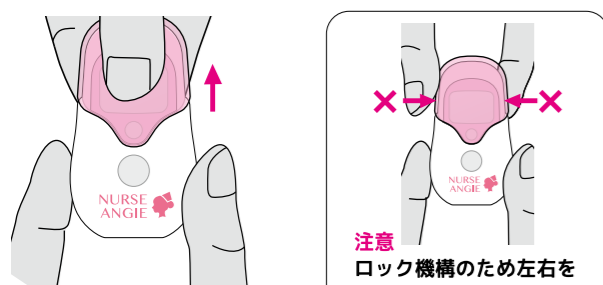
保護フィルムをまっすぐ、ゆっくり引き抜く



外した保護フィルムは廃棄する

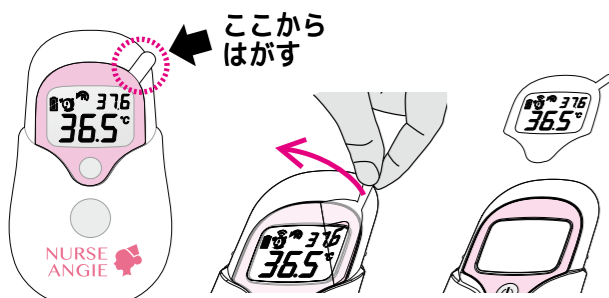
センサー部保護カバーを外す

指で前後につまみながら上に引っ張って取り外す



注意
強くつまむと表示部に傷がつくおそれがあります。

表示部保護シートをはがす



株式会社カスタム

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL:03(3255)1117 FAX:03(3255)1137
https://www.kk-custom.co.jp/

お問い合わせ窓口電話
03-3255-1117

受付時間
9:00 ~ 17:30
(土、日、祝日を除く)

製品に関するお問い合わせは、接続後「2」番を押して下さい。
※ ガイダンスの途中でも操作可能です。

「パピッとサーモ」「NURSE ANGIE」は株式会社カスタムの登録商標です。

体温を測る

電源を入れる



🔊が表示され、「ピピッ」と鳴ったら測定できます。

おでこに1~3cmまで近づけたまま、大きいボタン(SCAN)ボタンを短く押す



測定センサー部をおでこの中央に垂直に近づける

検温結果を確認する



続けて検温する場合

検温結果が表示された後、🔊が表示され、「ピピッ」と鳴ったら次の測定が可能です。

約1分間放置した場合

自動で室温表示モード(パワーセーブモード)になり、🌡️アイコンと共に室温が表示されます。(温度は1分毎に更新、表示されます。)

小さいボタン(🔊ボタン)を短く押すと[体温測定モード]に戻り測定ができます。

注意

ブザー音は赤ちゃんへの配慮のため、小さな音に設定しています。



こんな時は...

🔊が表示されない場合は... (体温測定モードになっていない場合)

 室温表示モード (パワーセーブモード) 🔊が表示される 小さいボタン(🔊)を押す	 物体表面温度測定モード 🔊が表示される 小さいボタン(🔊)を押しながら 大きいボタン(SCAN)を押す	 メモリーモード 🔊が表示される 大きいボタン(SCAN)を押す
--	--	---

検温結果がおかしいな? と思ったら...

検温結果が低くでる

 おでこの距離が離れている 1~3cmで測る	 先端部がおでこに向いていない 測定センサー部をおでこに向ける	 暑い場所から涼しい場所に移動させた 測定環境温度に20~30分置き、馴染ませてから測る	 被測定者が寒い屋外から暖かい屋内に移動した 測定環境温度で20~30分たってから測る
 おでこに風が当たり冷えている 風を避け、しばらくしてから測る	 おでこに汗をかいている 汗が引いてしばらくしてから測る	 前髪がおでこにかかっている 髪をあげてから測る	 眼鏡をかけている 眼鏡を外して測る

検温する方の体質、加齢等の影響で、移動や天候などで気温が変化した時におでこの表面温度が安定するまでに時間がかかる場合があります。

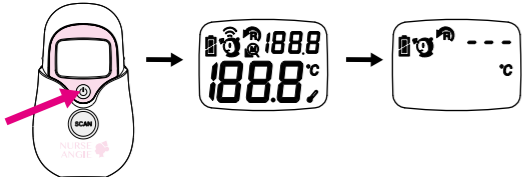
検温する場所で20~30分程度安静にしてから測定してください。但し、気温の低い環境ではおでこの表面温度が低いまま測定できない場合があります。(個人差があります)

検温結果が高くでる

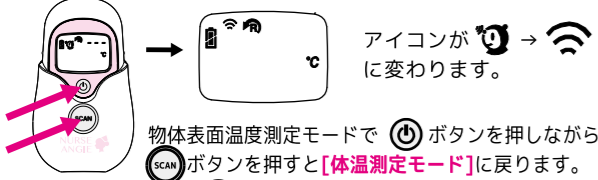
 この体温計はおでこの表面温度を口内(舌下)温度に換算して表示するため、一般的に脳下体温計の温度よりも高くなります。	 陽に当たりおでこが熱くなっている しばらくしてから測る	 寒い場所から暖かい場所に移動させた 測定環境温度に20~30分置き、馴染ませてから測る	 被測定者が暑い屋外から涼しい屋内に移動した 測定環境温度で20~30分たってから測る
---	------------------------------------	--	---

物体表面温度測定方法

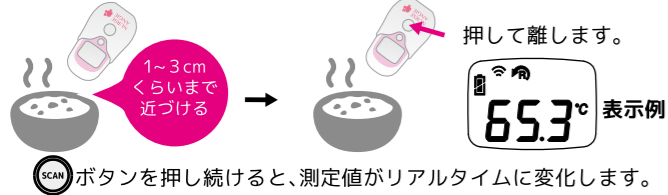
1. 電源を入れる



2. ボタンを押しながら [物体表面温度測定モード]にする



3. 測定対象に近づけて ボタンを一度押す



- 液体の温度を測るときは、よくかき混ぜましょう。温度のムラを少なくすることで、測定結果の精度が上がります。
- 測る場所を考慮しましょう。例えば、哺乳瓶の側面を測っても、中のミルクの温度は表示されません。表示されるのは哺乳瓶側面の温度です。
- 体温計に汚れがないか、確認してから測りましょう。特にセンサー部分に汚れが付着したまま使うと、測定結果に影響します。
- 体温計が暖まっている、または冷えている時は、30分ほど待って室温に馴染ませてから測りましょう。

4. ボタンを約5秒間押し続けて電源を切る

※ 約1分間放置すると自動で室温表示モード(パワーセーブモード)になります。

メモリーモードの確認方法

本体のメモリーに体温の最新の履歴が25件自動保存されます。

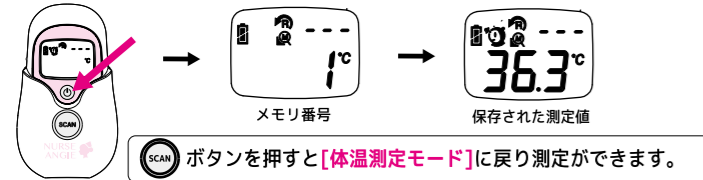
1. 電源を入れる



2. 自動保存された測定値を確認する

ボタンを押すと アイコンと共にメモリー番号に続き自動保存された測定値が表示されます。(物体表面温度の測定値は自動保存されません。)

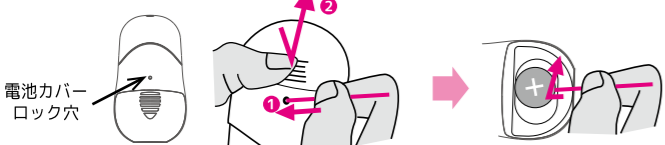
ボタンを繰り返し押すことで、古い履歴に遡って表示されます。1が最新、25が最古の履歴です。



電池の交換方法

表示部の電池残量を示す アイコンが点滅したらすぐに電池を交換してください。

- クリップなど硬く細長いピンを電池カバーロック穴に差し込み、押しながら電池カバーを指で 方向に押しながらずらして開けます。
- 本器を固定し、クリップなどのピンで電池を外します。
- 新品のリチウム電池 (CR2032) をプラス (+) を上にして金属フックに引っ掛けながら装着します。
- 電池カバーを元に戻します。



保管・お手入れについて

<保管方法>

温度：-20℃～+50℃ 湿度：85%RH以下(但し、結露のないこと)
保管場所：日光下や強い電磁波の生じる場所、ほこりの多い場所では保管しない。

<測定センサー部のお手入れ>

- センサー部分に汚れが付着したまま使うと、検温結果に影響します。
- ・ 本器の測定センサー部とその周辺の部分はとても繊細です。常にきれいな状態に保つために乾燥したきれいな場所で、ほこりなどから保護して保管してください。(センサー部保護カバーを取り付けて保管してください。)
 - ・ ほこりや汚れを除去する必要がある場合は、濃度70%のアルコールで湿らせた清潔な布か綿棒を使って軽く拭いてください。汚れを取った後、測定センサー部に何も付着していない事を確認してください。

<本体の汚れがひどい場合>

- ・ 水または低刺激の石鹸水を湿した柔らかい布を固く絞って拭き取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。

注意

- ・ 本体内部や測定センサー部に液体が入らないように注意する。
- ・ お手入れ後は、最低30分以上待って完全に乾いてから使用する。
- ・ 煮沸消毒したり、ベンジン、シンナー等の溶剤で洗浄したりしない。

トラブルシューティング

現象	表示の意味	解決方法
Er1	測定準備中。	アイコンが点灯するまで待つ。
Er3	室内温度が+10℃未満か+40℃以上ある。	+10℃~+40℃の室内温度で使用する。
Er5-9	予期せぬエラーが発生した。	電池を抜き約1分放置後、再度挿入する。上記を試してもエラーが繰り返し表示される場合は、販売店に連絡する。
Hi	[体温測定モード]にて測定温度が+42.2℃より高いか、[物体表面温度測定モード]にて測定温度が+80℃より高い。	指定の温度範囲で温度測定を行う。繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
Lo	[体温測定モード]にて測定温度が+34℃より低い、[物体表面温度測定モード]にて測定温度が-22℃より低い。	指定の温度範囲で温度測定を行う。繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
1888	自己検査に失敗した。	電池を抜き約1分放置後、再度挿入する。それでもエラーを表示する場合は新しい電池に交換する。交換しても繰り返しエラーが表示される場合は販売店に連絡する。
1888	電池残量が少なくなった。	電池を新しいものに交換する。

体温のしくみと本器について

本器はおでこ(額部)の温度を測定し、口内(舌下)温度に換算して表示します。

- 体調が安定した状態で初めて本器で検温を行った時に、**脇下に挟んで検温するタイプの体温計での検温結果(平熱)よりも高いと感じる場合がありますが、これは検温方式の違い(下図参照)や個人差によるものと考えられます。**
- 常日頃から、体調の良い時に本器を用いて検温を行い、本器にて検温した場合の「平熱」を知っておくことや、脇下で測定を行う体温計でも検温を行い、本器との温度差を知っておくことが大切です。
- 時間帯毎(起床時、お昼、夕方、就寝前等)に本器で検温を行い、1日の体温の変化を知っておくことも有効です。

体温についての豆知識

- ・ 全ての人に共通する「正常」な体温というものはありません。
- ・ 体温は測定位置や測定時間、身体活動や精神的な変化(例：赤ちゃんが泣くことなど)によっても変わります。さらには外気温や検温の仕方、その他の要因によっても影響を受けます。
- ・ 一般的に赤ちゃんや幼児は新陳代謝が活発なため、大人に比べて体温が高い傾向にあり、女性は月経や排卵期において体温が変化します。
- ・ 人の体温は、臓器の動きを保つために体の内部ほど高く、安定しています。したがって、個人差はありますが一般的には口内(舌下)は脇下に比べて温度が高い傾向にあります。(右図参照)

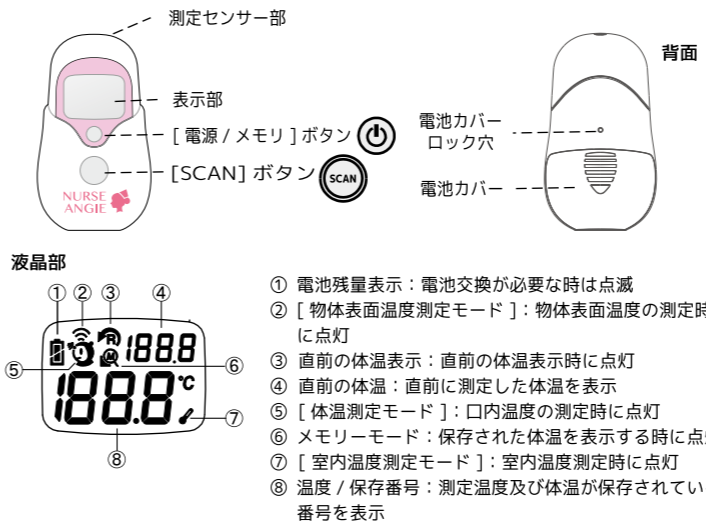


仕様

項目	仕様
販売名	非接触式体温計 ミニ
医療機器認証番号	227AFBZX00039000
体温測定範囲(測定部位:額)	+34.0℃～+42.2℃
体温測定精度	±0.3℃
物体表面温度測定範囲	-22.0℃～+80.0℃
物体表面温度測定精度	±4% または ±2.0℃のどちらか大きい値
室内温度測定範囲/精度	+10.0℃～+40.0℃、±2.0℃
最小表示単位	0.1℃
体温測定結果保存数	最新25件
パワーセーブ機能	約1分間無操作状態で自動的にパワーセーブモード(室温表示)
電源	リチウム電池(CR2032)×1個*
電池寿命	約3,000回**
使用環境温湿度	+10.0℃~+40.0℃、15~85%RH(但し、結露のないこと)
保管環境温湿度	-20℃～+50℃、85%RH以下(但し、結露のないこと)
電撃保護の形式と程度	内部電源機器、BF形装着部
寸法	約(W)46.4×(H)80.1×(D)37.7mm(センサー部保護カバー未装着時)
重量	約47g(電池含む/センサー部保護カバー除く)
付属品	取扱説明書(保証書付)、添付文書、センサー部保護カバー

本器の仕様および外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
* 本器に装着されている電池は試用用です。市販の通常の電池よりも電池寿命が短いことがあります。
** ご使用になられる環境、状態、電池の種類により異なります。

各部の名称



購入時、キズや変色など外観上の異常がないこと、付属品に欠品がないことを確認してください。
万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。

- 【内容物】
- ・ 体温計本体
 - ・ 取扱説明書(本書)
 - ・ 添付文書
 - ・ センサー部保護カバー
 - ・ リチウム電池(CR2032)(テスト用)

保証書		型番	NIR-02
保証規定		シリアルNo.	
本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。		保証期間	年月日 より1か年
1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。		お客様 様	お名前 様
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。			
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。		ご住所	
a 不適当な取扱い、使用による故障		電話番号	
b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障		店名	
c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障		販売店	
d その他当社の責任とみなされない故障		販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください	

安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に安全上のご注意と取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意 必ずお守りください

- 警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
- 注意** 人が傷害または財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

警告

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。過度の衝撃や振動を与えない。本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- 電子レンジなどのマイクロ波加熱炉の温度測定は絶対に行わない。本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 故障が疑われる場合は使用しない。使用前に亀裂、破損等の異常がないかを充分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
- 本器の分解、改造は行わない。修理が必要な場合は、購入された販売店にお問い合わせください。これらに起因する損害について製造販売業者はその責任を負いません。
- 本器を加熱したり火中に投入しない。破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しない。重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 本器を濡れた手で扱ったり、水で濡らさない。感電のおそれがあります。
- 本器や本器に使用する電池は乳幼児の手の届く所に置かない。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
- 電池の液が目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしない。
- 電池のプラス、マイナスを逆に使用しない。
- 付属の電池を充電しない。充電すると液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管をしない。
- 使い切った電池はすぐ本器から取り出す。
- 本器が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や電池交換をしない。また濡れた手で電池交換をしない。感電の危険があります。
- 指定されている電池以外は使用しない。
- 電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
- 電池交換後は必ず電池カバーを閉じてから使用する。
- 長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出す。

注意

- 高温や低温のところ、直射日光の当たるところ、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしない。保管環境温度以外の環境下で保管しない。故障の原因になったり、正しい測定ができなくなります。
- 周囲に雑音が発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しない。表示が不安定になったり、誤差の原因となります。
- 外部の強力なノイズ等により測定ができなくなった場合や、表示に異常が発生した場合は一度、電池を取り外して入れ直し、本器をリセットする。
- 本器の測定センサー部を太陽や強い光源に向けない。センサーが破損する可能性があります。
- 測定センサー部に傷があると正しい測定結果を得られません。測定センサー部に傷がある状態では正しい測定結果を得られません。
- 測定する物体に測定センサー部を接触させない。傷がついたり、汚れや異物が付着すると、誤作動の原因になります。
- 測定センサー部を強く押ししたり、硬いものや鋭利なもので突いたりしない。故障の原因になります。
- 電池残量不足表示が現れたら、すぐに電池を交換する。正確な温度測定ができません。